

◎基本目標 4 みんなで考え行動するまち

○基本施策 4-1 環境教育・環境学習の推進

●施策 4-1-1 自然・環境学習関連施設の事業の推進

【環境指標】 (評価 達成しているもの：◎、予定どおり進捗中：○、今後一層努力を要するもの：△)

指 標	平成 26 年度 基準	平成 32 年度 目標	平成 27 年度 現状・評価	担当課
自然環境学習に関する行事等の年間実施状況	21 回 466 人	25 回 550 人	21 回 427 人 評価：○	根本山自然観察センター
自然環境教育に係る年間の学校等団体利用状況	56 団体 2,200 人	70 団体 2,400 人	62 団体 2,250 人 評価：○	鬼怒水辺観察センター

【施策の展開状況】

・根本山自然観察センター、鬼怒水辺観察センターでは、施設区域の森林や水辺環境を保全し、その自然環境を活用した自然体験教室の開催や展示等により環境学習を推進します。

- 根本山自然観察センターでは、里山の生き物観察や調査、自然の恵みを素材に使ったクラフトづくりなど、一年を通して里山の自然に親しむ「しぜん体験教室」を 19 回開催し、延べ 393 人の参加がありました。また、学校等の団体の利用は、42 団体 1,544 人ありました。
- 鬼怒水辺観察センターでは、水辺の生き物とふれあう「鬼怒水辺ふれあい観察会」を 2 回開催し、延べ 34 人の参加がありました。また、学校等の団体の利用は、20 団体 706 人ありました。

・自然教育センターでは、市内小中学校の児童生徒が、鬼怒川河川敷の自然を利用した集団宿泊体験活動を通して、河川の環境学習を推進します。

- 市内小学校 3・4・6 年生 2,306 名と中学校 1・2 年生 1,530 名が、集団宿泊を行いました。

・科学教育センターでは、小中学校の観察実験学習や市民の科学体験教室等の催し事を通して、地球環境やエネルギーに関する学習を推進します。

- 市内小学校 3・4・5・6 年生と中学校 1・2・3 年生が、年に 2 回、理科学習施設として利用しました。

・自然環境の保全のための重要地域について、学習できる資料整備を図ります。

- 「第 2 次真岡市動植物実態調査報告書」を作成し、自然環境の保全を図るうえでの 4 つの「重要配慮地域」と 4 つの「配慮地域」を選定しました。今後、資料整備について検討していきます。

・その他 ● にのみや野外活動センターは、鬼怒川に隣接した自然環境を生かし、野外活動体験をとおして自然・環境への理解を深める場となっています。公民館主催の市民講座（親子でデイキャンプ）の開催や育成会活動のキャンプが実施されています。平成 27 年度は、中学生以下 799 名、一般 1197 名、合計 1996 名（うち宿泊者 498 名）の利用がありました。

根本山自然観察センター 平成 27 年度行事内容

開催日	行事名	参加人数
4月26日	野の花で生け花をしよう	22名
5月2日	竹のコップでランチパーティーをしよう	23名
5月17日	春のカエルとヘビを観察しよう	17名
6月7日	里山デビュー 根本山へ行ってみよう	14名
6月20日	キケンな虫や草をおぼえよう	22名
7月11日	オオムラサキを観察しよう	26名
7月19日	夜の里山探検	雨天中止
8月8日	キリギリスの鳴き声調査	5名
8月23日	竹でけん玉を作ろう	10名
9月12日	鬼怒水辺ザリガニつり大会	41名
9月23日	秋の水辺の生き物をすくってみよう	23名
10月17日	キノコのふしぎをさぐる	18名
11月8日	根本山ウォークラリー	雨天中止
11月28日	小枝とマツボックリのクラフト	29名
12月13日	落ち葉のプールを作って遊ぼう	32名
12月23日	お正月飾りを作ろう	28名
1月11日	カブトムシのすみかづくり	35名
2月18日	大人のクラフト～ドングリの木で作るストラップ～	9名
2月19日	大人のクラフト～ドングリの木で作るストラップ～	7名
3月6日	リスのくらす林づくり	9名
3月26日	春を探しに出かけよう	23名

鬼怒水辺観察センター 平成 27 年度行事内容

開催日	行事名	参加人数
6月28日	鬼怒水辺ふれあい観察会 カイツブリの親子を見よう	12名
10月4日	鬼怒水辺ふれあい観察会 赤トンボをつかまえよう	22名

自然教育センター 集団宿泊プログラム例

1. 目標・活動内容 …各校で設定
2. 教育課程上の位置付け …学校行事・総合的な学習の時間・各教科
3. 日程

	第1日	第2日	第3日	第4日
午前	入所式 オリエンテーション	ふれあい活動 ・高齢者とのふれあい活動等	創作活動 ・野鳥ブローチ作り等	自然観察活動 ・野鳥観察等
午後	炊さん活動 ・野外炊さん	自然体験活動 ・いかだ作り	自然体験活動 ・いかだ遊び	全体振り返り 退所式
夜	自由交歓 1日の振り返り	キャンプファイヤー練習 1日の振り返り	自然体験活動 ・キャンプファイヤー 1日の振り返り	

科学教育センター 平成 27 年度行事内容

学 年	学 習	内 容
小学校3年生	「昆虫のかんさつ」	昆虫の体のつくり・昆虫の育ち
小学校4年生	「電気のはたらき」	光電池のはたらき・ソーカーを走らせよう
小学校5年生	「メダカのとんじょう」	水中の小さな生物の観察

事 業 名	内 容
夏休み特別事業「市民の科学体験教室」	昆虫標本の展示やカブトムシ・クワガタムシ・ザリガニとのふれあい体験

○基本施策 4-1 環境教育・環境学習の推進

●施策 4-1-2 環境学習の様々な機会の提供と支援

【環境指標】 (評価 達成しているもの：◎、予定どおり進捗中：○、今後一層努力を要するもの：△)

指 標	平成 26 年度 基準	平成 32 年度 目標	平成 27 年度 現状・評価	担当課
ごみ減量座談会の参加者数	3,632 人	4,000 人	2,687 人 評価：△	環境課
芳賀地区エコステーション施設見学者数 (真岡市民)	3,079 人	3,200 人	3,219 人 評価：○	

【施策の展開状況】

- ・ごみ減量等の地域座談会を開催し、ごみ減量及び資源の循環についての理解を深めます。
 - ☛ 施策 1-1-1 参照
- ・芳賀地区エコステーションでは、施設見学を通して、ごみの減量化や 3R についての環境学習を推進します。
 - ☛ 平成 27 年度は、97 団体延べ 3,219 名の施設見学者や体験教室の参加者に対し、施設の PR に併せて環境学習を推進しました。
- ・地球温暖化防止に関する学習会などを行います。
 - ☛ もおか環境パートナーシップ会議と連携し、地球温暖化防止をテーマに環境学習会を 2 回開催しました。

- ・学校の各教科・課外活動や総合的な学習の時間において、必要に応じて環境学習の協力を行います。
 - 長沼中学校の1年生を対象に、公民館の出前講座として「真岡市の環境」の説明を行いました。
 - 3校15名の生徒が市役所に来庁し、地球温暖化やごみの分別とリサイクルについての本市の取り組みなどを学びました。
 - 小・中学校では、「理科」や「総合的な学習の時間」等で、動植物の観察や調査、環境問題等に関する学習を行っています。また、小学3・4年生では、社会科の中で使用する社会科副読本「わたしたちの真岡市」を通して暮らしの中でのごみ問題や水の関わりについて学習しています。そのほか、全小学校（18校）を対象として、子供たちのアグリ体験学習推進事業（農業体験学習）を実施しました。
 - 大内東小学校と真岡西中学校では、学校林を活用し、総合的な学習の時間に自然観察や保全活動に取り組んでいます。このうち大内東小学校は、平成27年度に「全日本学校関係緑化コンクール」の学校林等活動の部で特選（農林水産大臣賞）となりました。
 - 各保育所では、植物（花）を育てる環境づくりの学習や、畑で農作物を育て調理したり、植物を利用し工夫して遊んだり、小動物とのふれあい（メダカ、アリ、ダンゴムシ）などを行いました。
- ・こどもエコクラブの活動を支援します。
 - 市内5団体378名（真岡児童館、真岡小学校5年生、せんだん幼稚園児童クラブ、大内西小学校4年生、熊倉大谷子ども会育成会）が、こどもエコクラブに登録、活動しており、市は事務局として連絡仲介、広報支援などを行いました。平成27年度は、真岡児童館が「こどもエコクラブ全国フェスティバル」の壁新聞部門で朝日新聞社賞を受賞しました。
- ・市民活動推進センターでは、登録された環境学習活動団体の催し事開催等を支援します。
 - 9団体の催し事開催等を支援しました。

◎基本目標4 みんなで考え行動するまち

○基本施策4-2 環境保全活動の推進

●施策4-2-1 環境保全に関する情報の共有

【施策の展開状況】

- ・環境基本計画に関する年次報告書を作成、公表し、環境に関する情報の共有を促進します。
 - 年次報告書を市内企業・団体等に配布するほか、市ホームページに掲載しました。
- ・環境に関する学習会や催し事、環境保全に関するボランティア活動の情報を「広報もおか」、「ウィークリーニュースもおか」及び市ホームページ、並びにケーブルテレビ等で提供します。
 - 随時、提供しました。また、市内だけではなく、県内や県外にも発信される配布物やメディアにも情報提供を行いました。

○基本施策 4-2 環境保全活動の推進

●施策 4-2-2 各主体の環境保全活動の支援

【施策の展開状況】

・地域や市民が安心して環境保全活動を行えるよう、市は市民ボランティア活動に関する保険制度により、万が一の事故に備えます。

☛ 真岡市民または市内でボランティア活動を行っている方等に対して、傷害事故と賠償責任事故について補償しています。

・市民活動推進センターでは、登録された市民活動団体の情報発信や活動の支援を行います。

☛ 市民活動推進センターでは、年4回発行される広報紙コラボにおいて登録された市民活動団体の情報提供を行うと共にその団体の活動を支援しました。

・その他：各主体による環境保全活動としては以下のようなものがあり、市役所は事務局をするなどして、活動を支援しました。

☛ 「真岡の自然を守る会」は、真岡市公民館真岡西分館を拠点に活動しており、「春の七草摘みと七草粥作り」、「鬼怒水辺観察緑地川の生きものさがし」を一般募集により実施しました。また、「春の七草寄せ植え」の市内小中学校等への配布と、河川清掃と水辺の野鳥観察会を年5回行いました。

☛ 「真岡自然観察会」は、SAVE JAPAN プロジェクトに参加し、自然観察会や自然環境保全に関する啓発などの活動を行いました。

☛ とちぎ元気な森づくり事業では、地元住民で組織した管理団体により、下草刈りや清掃活動などの里山林の保全管理作業が行われました。(施策 2-1-1 参照)

☛ 地域公民館活動では、花いっぱい運動を実施し、79館が参加しました。

☛ 西沼地区と宿中地区とでは、多面的機能支払交付金事業に取り組んでいます。このうち、西沼地区では、生態系に配慮した水路の草刈り、生き物調査、田植えなどの体験学習、景観形成のための施設への植栽等を行いました。宿中地区では、水路・道路の草刈り、土水路等の保全を行いました。

☛ 真岡工業団地総合管理協会の環境部会では、毎週水曜日、五行川及び鬼怒川に排出する工業団地からの総合排水にかかる水質調査と、年2回の環境パトロールを実施しました。

○基本施策 4-2 環境保全活動の推進

●施策 4-2-3 協働による環境保全活動の推進

【環境指標】 (評価 達成しているもの：◎、予定どおり進捗中：○、今後一層努力を要するもの：△)

指標	平成 26 年度 基準	平成 32 年度 目標	平成 27 年度 現状・評価	担当課
協働による環境保全ボランティア活動に関心のある市民の割合※	44.2%	55%	41.3% 評価：△	環境課
自然環境の保全活動に参加している市民の割合※	12.5%	20%	15.2% 評価：○	

※ 平成 28 年度市民意向調査による

【施策の展開状況】

- ・市民、事業者、行政の協働による環境保全活動の推進を図ります。
 - 栃木県では、平成 28 年 3 月に「生物多様性とちぎ戦略」の改定を行い、平成 28 年度からの 5 ヶ年の後期重点プロジェクトの一つとして「人、地域、企業、団体等の協働推進プロジェクト」を掲げており、企業と地域住民・保全活動団体とのマッチングによる社会貢献活動の推進を目指しています。本市では、平成 18 年 2 月に市民、事業者、市の協働による環境保全活動を実現する「もおか環境パートナーシップ会議」を設立しましたが、今後、市内の他の地域でも環境保全活動をする市民や市民団体と、企業などの事業者との連携を市が仲介し、協働による環境保全活動を展開していくことが求められていると認識します。
- ・「もおか環境パートナーシップ会議」の一層の機能強化を図り、環境保全活動を推進します。
 - 平成 27 年度に設立 10 年となり、大久保地区モデル事業部会、環境学習推進事業部会、エコ・レポーター事業部会、環境フェア事業部会、広報部会に分かれて活動を続けています。
 - 大久保地区モデル事業部会では、「自然ふれあい園“大久保”」で、市民と企業の協働により園内の保管理、ホタルの飼育、里山林の管理、花や野菜の栽培、動植物の調査を行いました。

平成 27 年度の登録人員等：個人 93 名、企業 13 団体

平成 27 年度の活動参加人数：延べ 639 人（平成 26 年度：延べ 531 人）

 - 環境学習推進事業部会では、地球温暖化をテーマにして、小学生親子を対象とした電気の大切さを学ぶ「夏休み環境学習会」や、環境展において自然エネルギーに関する学習会を開催しました。
 - エコ・レポーター部会では、継続的にごみの不法投棄現場の現地調査と、マイバックの持参率調査を行っており、環境展でその成果を公表しました。
 - 環境フェア事業部会は、環境展で「もおか環境パートナーシップ会議」の展示コーナーを設け、10 年間の活動の歩みを紹介しました。また、10 周年記念美化活動を行い、市民や企業・団体など約 130 名の参加を得て、「自然ふれあい園“大久保”」とその周辺道路のごみ拾いをしました。
 - 広報部会は、「もおか環境パートナーシップ会議」の紹介パンフレットと会報誌の作成を行いました。